

ひろしま社会教育人



〈社会教育主事講習を受講した動機〉

大学で社会教育主事任用資格は取得していたものの、任用上、社会教育主事として発令を受けることはなく、実際に自分の業務として資格を活用する機会もありませんでした。

そうした中、令和2年度から社会教育士の制度が始まり、社会教育主事任用資格の活用幅が広がりつつあると感じました。また、令和5年4月に施行された改正博物館法では、地方公共団体や学校、社会教育施設などとの連携・協力が明記され、博物館にもより一層地域とのつながりが求められるようになったことから、ますます社会教育士の必要性や可能性を感じるようになりました。

当初は、実際の業務にどのように活用できるのか具体的なイメージを持てずにいましたが、「どう活かすかは取得してから考えればいい」という周囲の後押しもあり、講習を受講することに決めました。

〈社会教育士として取り組んでいること〉

博物館では、学校対応や講師派遣を担当し、学校や社会教育施設との連携の窓口を担っています。社会教育主事講習を受講したことで、「つなげる」「広げる」という視点から、一つ一つの業務を捉え直すことができるようになりました。講師派遣の依頼に対しても、単に依頼に応えるだけではなく、博物館が所蔵する資料や学芸員の専門性をどのような学びや活動につなげられるか、また、学びを深めるためには、どのように他館・他機関と連携したらよいのかについて、意識するようになりました。公民館等からの依頼も少しずつ増加しており、博物館がまちづくりなどの地域の活性化に貢献するなど、博物館と地域との連携の幅が広がっていくことも期待しています。

また、社会教育主事講習で学んだことは、アンケートの取り方や広報等の実務にも、直接的に生かされています。学んだことを、今後の自分の業務の中で、具体的にどのように活かすことができるか、館長や課長に相談しながら様々な可能性を考えています。



〈経歴〉

平成24年度

広島県立歴史博物館

文化施設非常勤職員

平成29年度～令和2年度

広島県立歴史博物館

文化施設事務嘱託員

令和3年度～

広島県立歴史博物館

文化施設事務従事員



博物館から
つながり広がる
豊かな学び

吾田 朱里

広島県立歴史博物館
文化施設事務従事員

〈今後に向けて〉

今後は、社会教育士として、人や施設をつなげ、学びを広げるという視点を大切に、学校や地域、他の機関が、これまで以上に博物館と連携・協働できるようコーディネートをしていきたいと思います。そのために、まずは、「博物館に相談してみよう」と気軽に声をかけてもらえる窓口になることが目下の目標です。そこから、新たな学びや連携が生まれ、博物館が地域で様々な価値を発揮していくことにつながっていくと考えています。

また、社会教育士として、自分の暮らす地域の町内会活動にも積極的に参加したいです。人と人がつながり合い、そのつながりを地域活性化に結び付けていく活動に、自ら関わっていきたいと考えています。

#博物館

#つなげる #広げる #窓口

#学校・社会教育施設との連携・協働